

2017年度 リーダー育成特別会議 方針（案）

議長／佐藤 将道 副議長／村口 隼 幹事／岡本 壮一郎

副議長 村口 隼

1 地域の発展と地域経済の成長は深く関連しておりますが、企業の成長には自身の考えに
2 賛同する周囲の人たちを統率しながら、目標へ向かい力強く進んでいく人材が不可欠であ
3 り、そのような先導者の増加は地域全体の発展を促すと考えます。我々が明るい豊かな社
4 会を実現する糸口として、会員はリーダーが持つべきスキルに更なる研鑽を重ねる必要が
5 あります。

6 まずは我々が、発見した問題に対し効果的な解決策を見出す人材となるために、現状の
7 みならず過去や未来などに向けた着眼点から、創意工夫された着想をもとに課題解決に取
8 り組み、地域経済へ有益をもたらした事例を紹介することで、多角的な視野と固定観念に
9 捉われない豊かな発想力を養っていただきます。そして、大きな力を生み出す個々の力の
10 結集方法を学ぶために、論理的な言動を用いた発信方法と、双方の意思の疎通に有効な受
11 信方法を体感することで、信頼関係を築き協働へと導くコミュニケーション能力を身につ
12 けていただきます。さらに、自らの理想とするリーダー像を描くために、常に目的を見失
13 わず迅速に決断する必要性や、多様な状況に対応する柔軟性、先導者が示すべき姿勢を認
14 識することで、訪れる困難に臆することなく立ち向かう行動力の強化へと結び付けます。
15 また、目指す社会や望む未来を実現する糸口を知るために、これまで身につけた豊かな発
16 想力、大きな力を創出するコミュニケーション能力、目標へ向かう行動力を兼ね備えた先
17 導者の増加こそ、地域の発展や社会成長を促せると伝え、周囲の人を育成する必然性を認
18 識することで、自己の研鑽に努める契機としていただきます。

19 会員は、リーダーの持つべきスキルを磨き上げ、地域や企業の発展や周囲の人たちの日々
20 に対する満足感へつながる喜びから、新たな活動意義を見出します。地域全体に満足感を
21 もたらす人材を数多く輩出する機運を高めることで、明るく心豊かに暮らせる函館の実現
22 へと結び付けます。

23 事業計画

- 25 1. リーダー育成特別会議の運営
- 26 2. 11月例会の運営
- 27 3. 新入会員の拡大
- 28 4. 各委員会及び出向者への協力
- 29 5. 各種大会・会議への参加

2017年度 一般社団法人 函館青年会議所 リーダー育成特別会議 年間事業フレーム(案)

1. 第1、2、3回リーダー育成特別会議の運営
2. 11月例会の運営
3. 新入会員の拡大
4. 各会員及び出向者への協力
5. 各種大会・会議への参加

事業別作業スケジュール

| 事業名 | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------------------------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 第1、2、3回リーダー育成特別会議に関する事業 | 上程 | | | | 協議 | 審議 | 実施 | | 実施 | | 実施 | 報告 | | | | |
| | 作業等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11月例会に関する事業 | 上程 | | | | | | | | | | | | 協議 | 審議 | 実施 | 報告 |
| | 作業等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新入会員の拡大 | 上程 | 実施 | | | 実施 | | | | | | | | | | | |
| | 作業等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 各委員会及び出向者への協力 | 上程 | 実施 | | | 実施 | | | | | | | | | | | |
| | 作業等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 各種大会・会議への参加 | 上程 | 実施 | | | 実施 | | | | | | | | | | | |
| | 作業等 | | | | | | | | | | | | | | | |